

講習の名称：倫理学  
担当講師：小谷英生（教育学部准教授）  
講習開講日：2019年8月24日（土）  
時間数：6時間

主な受講対象者：小学校・中学校・高校教諭

キーワード：道徳教育、自由、平等、ジェンダー

講習の概要：

いくつかの教材をこちらから提示し、①その内容を論理的に再構成し、②価値評価および価値に関する思考法という観点から分析を加え、③ディスカッションしていく。その際、様々な哲学者の議論についても適宜紹介する。このような作業を通じて、学校現場の具体的状況における道徳的価値判断や説明責任の充足について思考を深めていく。テキストはこちらで用意するプリントに加え、『リアル世界をあきらめない』（星雲社、2016）である。

講習の展開：

- 第1時限 道徳とは何か——倫理学と学校現場をつなぐ
- 第2時限 演習（グループ討論）
- 第3時限 演習（グループ討論）
- 第4時限 発表

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

グループ討議形式の演習を行います。とくに基礎知識は必要ありません。日頃から政治経済社会問題と、それが学校教育に与える影響などに関心をもって下さい。

授業の形式：

道徳についての基礎的な考え方を講義形式で確認したのち、演習(グループ討議)・発表を行います。

履修認定試験： 論述形式の筆記試験（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

『リアル世界をあきらめない』（星雲社、2016）を事前に読んできてください。  
その他テキストについては当日プリントを配布します。